

改正、23年度補正予算などの専決処分の承認

請負契約の締結について

湯沢高原のトリプルリフト改修及びボブスレーリフトの中古移設の工事請負契約を日本ケーブル(株)と3億9399万1500円で随意契約する内容で工期は12月20日まで。

主な質疑

問 本来130万円を超える契約は競争入札が原則。随意契約で行う正当性は。

答 湯沢町財務規則第123条第3項の第2号と第6号を適用

注、第123条第3項

② 不動産の買入れ又は借入、町が必要とする物品の製造、修理、加工又は、納入に使用させるための必要な物品の売り払い。その他の契約で、その性質又は、目的が競争入札に適していないとき。
⑥ 競争入札に付することが不利と認められるとき。

問 以前、現ボブスレーリフトの所は、地盤が悪いからリフトは作れないと日本ケーブルは言っていたが。

答 地質調査をきちんとする。

問 ボブスレーリフトは夏、冬両用なのか。

答 両用です。

問 細かい単価等、判断資料が少ないが、公表されない訳は。

答 日本ケーブルとの信頼関係の中で決めてきたし、設計書は公表できる。

問 町民は運営会社が索道会社の100%子会社でいいのか疑念を持っている。本場に必要ない修繕なのか、妥当な価格なのか、第三者に検証していただく必要があると思うが。

答 技術力は日本ケーブルが一番あると思うし、判断も適切と信じている。

問 日本ケーブルとSRSを疑う訳ではなく、町民に納得していただける説明をするためにも、専門家、行政、SRS三者で修繕の必要性和価格の妥当性を検証できないか。

答 リフトを作ってくれた日本ケーブルとの信頼関係のなかで行っていきたいと思っている。

閉会中の常任委員会調査報告

産業建設常任委員会 5月21日

委員長 南雲 正

案件

- 1、夏期観光の取組みについて
- 2、産業振興(農業、商工業)について
- 3、三俣振興対策(道の駅、下水道他)について
- 4、地域整備事業(国、県、町)について

主な質疑

問 インバウンドの東日本大震災の影響から回復状況、上越新幹線開業30周年記念事業に対するJRの認識、観光振興計画の検討状況と完成。

答 インバウンドは一昨年から2万人、昨年は震災の影響から75.53%に落ち込んだが、最近回復傾向にある。30周年記念事業はJRからも協力を得られることで宣伝を考えている。観光振興計画は、第一次の問題点を幹事会で抽出し今後の方向をまとめる。

問 安い外国産コシヒカリの進出が心配されるが、ブランド米としての湯沢産コシヒカリの販売価格の予想は。

答 中国産コシヒカリの進出は心配されるが、ブランド米としての品質、価格を守るような努力をする。

問 街道の湯、道の駅、河川整備等全体像を考えた構造はできないか。

答 三俣地区振興ビジョンが策定されている。

